

選択的評価事項 A 研究活動の状況

1 選択的評価事項 A 「研究活動の状況」に係る目的

本学の研究活動面については、本学の理念に沿って、「自然と人間の共生」というミッションに支えられた学術研究の、時代の変化を見据えた創造的研究としての展開、自然科学と人文・社会科学の有機的連関（文理融合の視点）に基づく研究の推進と新しい研究分野の開拓、専門と学際の方両方向からの研究アプローチによって地域に密着した諸課題の学術的探求を積極的に推進、産官学民の連携による共同研究の重視、研究と教育の相互作用を重視した教育研究体制の確立等の視点から、中期目標・中期計画において、研究及び社会との連携に関する目標を次のように設定している。

研究に関する目標

研究活動の成果は、人類の平和的発展や福祉・文化の向上に寄与する一方で、人類のさまざまな営みや世界観に多大な影響を与える。これを常に認識し、研究者としての良識に従って、持続可能な社会の構築を目指し、社会の信頼と期待に応え得る研究活動を遂行する。

（1）研究水準及び研究の成果等に関する目標

1. 基礎研究を推進し、独創的で水準の高い研究成果を挙げる。
2. 国際的に通用する先端的研究を推進する。
3. 地域立脚型の学術研究を推進する。
4. 研究水準・成果を検証し改善を図る。
5. 研究成果の社会への発信と還元を図る。
6. 知的財産の創出、特許の取得、管理及び活用についての方策を推進する体制を構築する。

（2）研究実施体制等の整備に関する目標

競争的研究環境を創出し、公正な評価による資源配分の仕組みを構築する。

1. 柔軟性と機動性に富んだ研究組織を構築する。
2. 全学的研究支援体制を整備する。
3. 研究成果公開体制、自己点検評価体制を整備する。
4. 研究資金の公平かつ効果的な配分方法を構築する。

社会との連携に関する目標

地方に位置する大学として、教育研究成果を積極的に地域社会へ公開するとともに、地域連携窓口を充実させ、地域社会の抱える課題を把握・解決し、地域社会の発展に貢献する。

（1）地域文化の振興と発展

1. 本学の教育研究活動に関する情報及び成果を集積し、積極的に社会に公開・還元する。
2. 地域における教育の発展に貢献する。
3. 大学の諸施設を開放し、地域の教育・研究及び文化活動に貢献する。

（2）産学官民連携の推進

1. 産学官民連携モデルを策定し連携を推進する。
2. 産学官民連携ネットワークを形成する。
3. 総合大学の特性を活かし、全学的な地域連携体制を構築する。